



第39回卒業式～「喜」人が喜ぶことを自分の喜びとする～

例年になく厳しかった冬の寒さが和らぎ、一気に春がやって来ました。そのような麗らかな天候の中、第39回卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため在校生が列席せず、式次第も短縮されましたが、入場、卒業証書授与、退場するまで、卒業生の動き一つ一つに、素晴らしい卒業式にしようという思いが感じられました。

校長の式辞では、新型コロナウイルス感染症の中でも、少しでもできることを精一杯やろうとする姿勢で、市郡中体連の大会、県大会、中には全国大会に出場するなど様々なスポーツの大会での活躍。作文や絵画、コンクールなど文化面における多数の受賞。限られた時間の中で応援団を中心に盛り上げてくれた体育大会や全力で走り抜けた持久走・駅伝大会など、最上級生としての自信と誇りを胸に、常に1、2年生の模範となって活躍をしてくれたことを称賛しました。卒業生との思い出の中で一番感動したのは、第39代生徒会のスローガン「喜」です。人は誰しも、自分を大事に思う気持ちと、他者を思う気持ちとのバランスで常に悩んでいる。時には、自分のことを大事にしすぎて、みんなから浮いているのではと不安になったり、他者のことを大事にしすぎて自分がつぶれそうになってしまったり。バランスをとることは簡単なことではない。自分の意見をはっきり述べなくてはならない。かといって、周りの意見にも耳を傾けなくてはならない。これからの世の中は、ますます多様性が大事にされます。髪や瞳の色、言語、育った環境も、信念も、能力や特性も、それぞれ違う一人一人を大事にすること。正解が簡単には分からない。一人一人が様々な課題を自分のこととして考え、勇気を出して自分の思いをしっかりと主張し、常に人と意見を交わしながら、粘り強く最適な答えを探していく営みが必要になる。第三十九代生徒会の「喜」、人が喜ぶことを自分の喜びとすることを目指すというスローガン



は、まさしく自分と他者を同時に大事にするための答えなのではないか。なんと素晴らしい生徒たちなのだと感じました。このことを、一生かけて深く、深く掘り下げ、確かなものにしてほしいと語りかけました。

立派な姿で卒業証書を受け取る3年生

在校生を代表して、2年生の生徒会長、西村友視さんは、先輩たちへの感謝の気持ちと心尽清掃や部活での姿に感銘を受けたこと、それを引き継いでいく決意を語りました。卒業生を代表して、唐仁原花奈さんは、熱くこみあげてくるものをぐっと押さえながら、三年間を振り返り、一緒に過ごしてきた友との絆、卒業式の場を整えてくれた先輩たち、先生たちの指導への感謝、これまで育ててくれた家族への感謝を述べました。



「卒業生を送ることば」を述べる 西村 友視 生徒会長



「お別れのことば」を述べる 唐仁原 花奈 さん

先日、完成した卒業アルバムの写真を見ながら、「なんて素敵な笑顔なのだ」と思いました。また、卒業式当日はマスクをはずして、お兄さん、お姉さんになった顔を見つめながらの卒業証書授与でした。その「笑顔」をますます鍛えながら、今後も様々なことにチャレンジして行ってください。

4月の主な行事

※ 現時点での予定でお知らせします。

日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	金		11	月	身体測定(全学年) 部活動顧問会(授業は5校時まで)	21	木	三者面談[5日目]
2	土	週休日	12	火	生徒会オリエンテーション 職員会議(授業は5校時まで)	22	金	歯科検診(1年)
3	日	週休日	13	水		23	土	週休日
4	月		14	木	歯科検診(3年) PTA新旧理事会	24	日	週休日
5	火		15	金	三者面談[1日目]	25	月	
6	水	新任式、始業式 第40回入学式	16	土	週休日	26	火	避難訓練(4校時) 三者面談[6日目]
7	木	知能検査(1年) (授業は5校時まで)	17	日	週休日	27	水	歯科検診(2年) 部活動発足式
8	金	標準学力検査(1、2年) 学級PTA	18	月	いじめ問題を考える週間(~22日) 三者面談[2日目]	28	木	三者面談[7日目]
9	土	土曜授業 標準学力検査(1年)	19	火	全国学力・学習状況調査[3年] 三者面談[3日目]	29	金	(祝)昭和の日
10	日	週休日	20	水	三者面談[4日目]	30	土	週休日

天候に恵まれ、成長を感じた2年生の修学旅行、霧島～宮崎南部～南薩の旅

新型コロナウイルス感染症のため、延期に延期を重ねていた修学旅行を、3月8日（火）から10日（木）までの2泊3日の日程で実施しました。旅行先は感染の状況から広島、福岡をあきらめざるをえず、霧島にホテルが2泊確保できたので、霧島～宮崎南部～南薩で行程を組み直しました。3日間とも素晴らしい天候に恵まれ、学校を離れて伸び伸びと充実した旅行でした。1日目の霧島では、まず、**みやまコンセール**で生の音楽にうっとりとし聞き入り、**高千穂牧場**では青空にくっきりとそびえる高千穂の峰を望みながら、その広がる大地の心地よさを友達とともに全身で味わいました。霧島神宮周辺では、**霧島クエスト**と呼ばれるオリエンテーリングゲームを楽しみ、2日目は、宮崎県へと県境を越え、**飫肥の城下町を散策**、**青島神社**で青く広がる太平洋や白い砂浜、鬼の洗濯板などの奇岩などの絶景を楽しみました。3日目は午前中に**知覧の特攻平和会館**を訪れ、語り部の方のお話を聞きながら涙を流す生徒もいました。午後は、**吹上浜海浜公園**で思いっきり友と遊びました。宿泊したホテルでは、ホテルマンとして働く吉野東中学校の先輩から歓迎の言葉をいただくというサプライズも。この3日間、時間を守り、集団のルールを守りながら、友達や旅先でお世話になる方への思いやりや感謝の気持ちを表すことで、だいぶ学び上手、旅上手、思いやり上手になり、成長を感じることができました。



高千穂牧場でのんびり



キリシマクエストに挑戦



キリシマクエストで捜索中



飫肥城で四半的に挑戦



青島の鬼の洗濯岩



飫肥城櫓門前でパチリ



特攻隊員たちが起居した三角兵舎を見学



知覧特攻平和会館で説明を聞く

「未来を担うあなた方へ」 1年生職業講話を実施しました。

令和4年3月11日（金）に、1年生を対象に職業講話を実施しました。今回の講師は、株式会社 鶴鳴館一鶴屋の代表取締役会長の小山 光義さんをお願いしました。小山さんは、「未来を担うあなた方へ」という演題で、自分の学生時代や会社員として電機メーカーに就職した頃のこと、鹿児島に帰って家業である料亭・仕出し屋をついでからのことを振り返りながら、経験をもとに、人として、社会人として、経営者として、未来を担う生徒たちが生きていく上で大事にしてほしいことを話してくださいました。社会人として働き始めた頃、**自分が直接悪いことをしたわけではないが、自分の仕事の領域で問題が起こったら責任を持たなければならないことを、会社の多額の損失とともに身をもって学んだこと。人間として気をつけて欲しいこととして、あいさつ、素直な人間になる、相手の気持ちになって考える、優しいだけでは分からないことについて。日本や鹿児島の素晴らしさ。感銘を受けた言葉。平和やこれからの時代についての思い**などを、とても優しい語り口で分かりやすくお話してくださいました。途中、錯視や錯覚について画像を見ながらクイズのように話され、生徒たちの気分転換なども入れながら、工夫してお話していただいたのですが、驚いたことは、1年生の生徒たちが休憩なしの90分間、姿勢をくずさず、じっと話に聴き入っていた姿でした。なんとという集中力。成長したなと感じました。いつも両親や家族、先生方から聞いていたこともあったけれども、あらためて大切なことを学んだという感想を多く書いていました。今後の生活に、学びに生かして欲しいと思います。



優しい語り口で、分かりやすく生徒に語り掛ける小山 光義さん

表彰・生徒の活躍

- 第22回若山牧水青春短歌大賞
佳作 2年3組 前村 和香
佳作 1年2組 古賀 悠仁
- 第72回県図画作品展
県市議会議長会会長賞 3年3組 田原 美姫
- 今村総合病院第6回絵画コンクール優秀賞 2年4組 谷口 真愛
- 鹿児島市学校版環境ISO認定 吉野東中学校